

# 国際協力の現場を語る

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持った人達を「JICA海外協力隊」として派遣しています。この人達は海外旅行などでの体験とは違った、海外協力隊ならではの様々な体験をしてくれています。赴任国で体験した、生活、文化、人々との触れ合い、苦労、喜び、伝えたいメッセージなどを熱く語っていただきます。

日 時: 毎月第3水曜日 15時30分～17時 (10月は(月)、11月は(木))  
(上大岡会場、JICA横浜で実施の場合)  
14時30分～15時30分 (Web会議で実施の場合)

会 場: JICA横浜 1階会議室 / 4階セミナールーム、  
上大岡会場(横浜市消費生活総合センター(京急上大岡駅5分  
ゆめおおおかオフィスタワー5F))、または Web会議室(Zoom)

会 費: 無料 (どなたでも自由に参加できます)

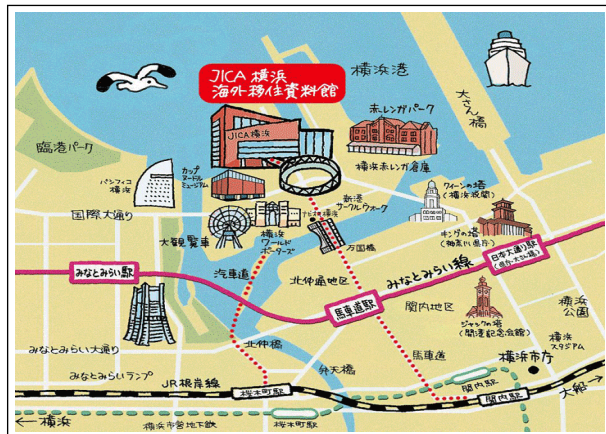
主 催: NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会

後 援: JICA横浜

問合せ先: 横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜3階 国際協力連絡室内  
シニアボランティア経験を活かす会 水曜日

Fax : 045-663-3263 担当: 井坂敏之 (046-887-0286)

URL [https:// jicasvob.com](https://jicasvob.com) E-mail [info@jicasvob.com](mailto:info@jicasvob.com)



赴任国(講師名)	「タイトル」	講演概要
第178回 9月16日 (水) コロンビア・ チリ・メキシコ (浦木 仁) (Web会議室)		「ラテンアメリカ3ヶ国での国際協力と文化の違い」 メキシコ、チリ、コロンビアにそれぞれ2年間赴任し、生産性向上のコンサルタントとして、企業の実践的改善活動を指導してきました。日本の安全文化を導入し、「改善を自主的に継続できる組織を作る事」を目標に活動していくなかで、3か国の国柄や文化の違い、そして歴史や自然の差異を体験することが出来ました。これら異文化を生活、仕事、旅行と広い範囲でご紹介します。
第179回 10月19日 (月) ウズベキスタン (経澤伸一郎) (上大岡会場)		「ウズベキスタンの大学での経験を振り返って」 ウズベキスタン共和国の文化、社会、経済情勢などを紹介するとともに2年間の大学で教えた講義内容、学生たちの様子、教育制度の概要を紹介しながらウズベキスタンの将来について解説します。 その他、金融資本市場に関わる政府系機関でのアドバイザー役の経験をお話しします。
第180回 11月19日 (木) ソロモン (関谷敏雄) (上大岡会場)		「ソロモンの紹介とボランティア活動報告」 ソロモン諸島は、第二次世界大戦で日米の激戦が繰り広げられ、戦況のターニングポイントになった場所です。また、美しい海をはじめ、自然豊かな国でもあります。ソロモンはとても興味深い国ですが、戦争と自然について今回ご紹介したいと思います。後半ではソロモン国立大学での数学教育の活動をメインに、同国の教育事情なども含めて報告いたします。
第181回 12月16日 (水) ブータン (鈴木洋子) (上大岡会場)		「ブータンでの活動を終えて—30年の時を超え2度の協力隊活動を体験して—」 人生2度目の協力隊は1回目(59-3ケニア理数教科教師)から33年後、SVとして派遣されたブータンでした。手工芸隊員として伝統工芸振興事業団に配属され染織分野を担当。外国人向け商品開発や品質向上のための草木染指導、染色テストや草木染糸サンプルの作成、小学校でのクラフト授業等を行いました。ブータンでの生活や活動を中心に時代・職種・国が異なる2つの協力隊活動を体験して感じたこと等をお話しします。
第182回 1月20日 (水) モロッコ (関 弥生) (会場未定)		「モロッコにて日本文化・日本料理を教える活動のご報告」 モロッコ観光省直属タンジェ国際観光学院大学にてツーリズム及びホテリアエコースの学生に、日本文化と和食を教える活動をしてまいりました。この活動や日々の生活でのモロッコ人との交流などを通じ、日本の様々な課題を考えさせられました。とりわけ日本の食領域での課題認識をいたしました。今後はこの課題に対し取り組んでいきたいというモチベーションになったこと等をお話ししたいと思います。